

団結して難局を乗り越えよう



第12回地方大会終了 運動方針確立・全議案を承認



No. 2740
2017年10月15日
発行責任者 五十嵐 敬
編集責任者 武田 昌仙

地方本部は第12回定期地方大会を9月24・25日の両日、松島町において開催した。大会では、労働条件改善、安全問題、組織強化拡大、18春闘など諸課題について議論が行われ、運動方針など全議案を承認、決定した。

大会概況

大会一日目

大会は歌川副委員長の司会で始まり、代議員定数25人中22人の出席を確認して大会の成立を承認。



地本大沼委員長

◆労働条件改善・安全安定輸送確立を求める闘いが終了。新制度の解明交渉は問題のない対応を求めている。会津・新庄・小牛田地区の受け皿確保と労働条件の改善に向けた交渉強化を図る。
○労働条件に関する協約改定の基本要件は、今後交渉に。扶養手当や管理者手当等が進んだ。通勤費の頭打ち解消や祝日、自動車手当の改善等求めている。
○東日本本部は3千人の

議長団には、議長に丸谷（宮城）、副議長には阿部（仙総）両代議員を選出した。
地本を代表しあいさつに立った大沼委員長は、国労の旗のもと団結して難局を乗り越えていく決

要員要求。16年度も約千人の社員が削減、労働強化が進み、業務委託先では夜間無人化や遠隔操作でサービスと安全を切り捨てる実態。TSSでは劣悪な労働条件でプロパー社員が一年で15人が退職。各現場ではP社・協力会社も含め技術者育成が進ま

国労運動の継承と発展を

ず。現場は疲弊し安全安定輸送に大きな課題。郡山駅連合やテクノ福島の取組みに学び日常の職場問題にこだわり労働条件の改善を取組む。
◆組織強化拡大
○年齢構成が上がり運動の停滞は否めない。大きな施策は多数派組合主導で動くが、一方で、職場

の助働先問題や臨時窓口対応問題など組合問わず参加する集会を開催し要求をまとめ駅長交渉し対応するなどの姿に信頼が寄せられている。その先に1人の拡大があった。昨年5人を拡大した職場だ。またTSSの36協定職場代表者選出の選挙で

プロパー社員の支持を得て会社側候補者を破り当選した組合員も。日々職場で放置されている問題を現場生産点の問題解決に拡大の芽がある。拡大をグループ会社にも広げる。
◆政治課題
○解散総選挙が現実味を帯び、与野党が選挙公約

関紙表彰を行い一日目の議事は終了。
大会二日目
運動方針に対する質疑では22人が発言。
代議員の発言を受けて書記長集約が行われ、全体の拍手で運動方針が承認された。スト権一票投票では出席代議員25人全員が賛成しスト権を確立。
役員改選では委員長ポ

の取りまとめの議論を加速。自民など選挙目当ての方針転換は許されない。臨時国会での森友・加計問題で政権支持率悪化の姑息な対応に国民は敏感に反応する。仙台市長選のように野党共闘で安倍改憲勢力三分の二の打破に向け全力で取組む。
◆国労運動の継承と発展に向けて
○東日本本部委員長に選出され本社対応の機関で働く。地方が活動しやす

9・8	8・8	8・8	8・8	8・8	8・8
・2	・31	・25	・19	・18	・10
第13回地方執行委員会					
調査部長会議・東北協議会幹事会					
地本安全問題プロジェクト会議・業長会議					
東日本本部大会					
第14回地方執行委員会					
組織部長会議					

9・9	9・9	9・9	9・9	9・9	9・9
・24	・10	・16	・12	・8	・5
・25	・11	・13	・13	・8	・5
TSS仙台支店訪問					
第15回地方執行委員会・支部代表者会議					
フクシマ交流事務局視察					
秋田地本・山形県支部不当配転者交流会					
東日本本部ゴルフ大会					
第12回定期地方大会					

丸谷	千葉	佐藤	武田	曾我
豊美	弘	勝	昌仙	浩之
宮	宮	宮	宮	宮
城	城	城	城	城

五十嵐	中島	歌川	原	執行委員長
敬	利彦	弘	清貴	執行副委員長
福	宮	福	仙	書記長
島	城	島	総	執行委員

山形県支部	東北自動車支部
土田 聡 (新庄連合)	岩崎 宏 (青森)

郡山工場支部	仙台総合車両所支部
本田 要一 (装置科)	伊藤 清志 (運転)
	阿部 春雄 (運転)
	鈴木 英弘 (車体)

宮城県支部	会計監査員
昆野 正則 (仙台駅連)	阿部 政雄 郡工
墨絵 学 (仙宮運輸区)	千葉 祐悦 宮城
伊藤 稔 (仙台建築)	橋本 吉孝 福島
立山 昭仁 (仙台電力区)	
千葉 覚 (仙石線駅連)	
長谷川 義浩 (貨物宮城)	
島山 満 (小牛田運輸区)	

福島県支部	宮城県支部
山田 明彦 (福島地区)	宮城 工
小椋 正 (郡山駅連)	
小椋 山 聡 (郡山設備)	

東日本本部 伊藤書記長

あいさつ要旨

▼安全・安定輸送の確立
労働条件改善。(東日本
大会からの報告)
○保線職場では、グレイ
ドの低い線区の検査不良
報告をしても予算で後回
し。しかし巡視で線路の
異常を発見、列車抑止
原因はレール張り出しで
あってはならない事象で
あり、改めて線路の安全
について考えさせられた
と自戒を込めた報告が。
○乗務員。「数秒間意識
がなく通過した信号機の
現示の記憶がない」「睡

来賓あいさつ

(挨拶順・敬称略)

☆社会民主党 辻 隆一

☆日本共産党 天下みゆき

☆宮城県平和労組会議 木幡 誉郎

☆東北労宮城県本部 佐々木 幸

☆退職者の会仙台地連 沼下 清一

☆全交共済生協 橋本 昭二

☆国労東北協議会 佐々木 力

☆国労議員団 石川 建治

☆国労東日本本部 伊藤 隆夫

るが、公正・公平な運用は当然、安心して働ける充実した制度設計を求めていく。
○懸案事項の解決。支社内異動は一定の成果、しかし支社越えの履行なし。本社が主導権を取り問題解決を強く求めてきた。会社も通常の人事異動の認識は崩していないが、風化させないよう各支社人事担当に伝えていくと若干の変化が。当該地本と連携し努力する。
▼組織強化・拡大。
○営業職の要員削減で、深夜帯の車内貫通作業が3人から2人体制の提案。他労組は「助役対応で」の姿勢だが、国労は「助役も労働者であり大変」とトラブル多発の時間帯であることを指摘しガードマン対応であるが3人体制を確保。国労が少数であっても「労働条件改善の視点で粘り強く取組みを行うことで労働条件は少しでも守られる：この取組みを他労組は見ていこう」という仕事と職場の必要性と国労加入の契機に。
○G会社に対する取組み。TSSでは昨年ブロック長に賃金・労働条件改善19項目を職場代表名で要請。受け取りはないが話し合いは成果、改善も。
○設備系職場では、国鉄・平成の職場比率が逆転し、若手主体の仕事に。時間内は発表会、各担当者会議、研修に駆り出され本

今年も上位入賞！ 団結力を発揮し健闘

第5回国労東日本本部ゴルフトーナメントが9月11日、栃木県宇都宮市サンヒルズカントリークラブで開



個人準優勝の大槻さん

催され、仙台地本チームは第3位と健闘しました。各地方本部の腕自慢のゴルフアー精鋭4人1チームの、全13チームが戦い仙台地本(小林秀男、中鉢悟、菊地浩喜、大槻政幸の各氏)は、15年連続第3位準優勝に次ぐ成績で第3位の栄冠を手中にしました。
この勢いで私たちの最重要課題である「組織強化・拡大」の取り組みに弾みをつけて全力で頑張りましょう。(弘)

一日も早く懸案事項の解決を！

9月17日、横手市内に

来業務は残業の実態。管理者は見えて見ぬふり。精神的重圧から精神疾患で休職に入る人も。若手の負担を軽減できないかと、P社から遅れてくる書類の整理の手伝いをするなど「仕事を個人任せにしなさい」など業務を通じ意識的に関り人間関係を築く中、悩みや不満を聞けるように：との発言。今の実態に引き合い少しでも職場を変える努力が信頼され加入に向けた一歩に。
○大会では組合員の減少やエルダー・現役の割合逆転という厳しい現実に直面、組織体制を含めた「組織の在り方」についての議論を求め意見も。次世代の仲間にとのよう

【団体成績】

優勝 東京地本大宮地区本部

(クロス 4人合計344)

準優勝 水戸地本(同合計349)

第3位 仙台地本(同合計353)

【個人成績】

☆準優勝 大槻政幸さん

(仙・宮運輸区分会 81)

☆第9位 菊地浩喜さん

(小牛田運輸区分会 86)

☆第13位 中鉢 悟さん

(小牛田運輸区分会 88)

☆第37位 小林秀男さん

(郡山設備分会 98)

退職のお知らせ

6月30日付

小野 公宏さん

(テクノ山形)

佐藤 正幸さん

(テクノ新幹線)

東海林 茂さん

(テクノ新庄)

田沼 宏之さん

(JR T M 幹線)

高橋 真人さん

(JR T M 幹線)

新屋 昭一さん

(テクノ東営業所)

武田 吉男さん

(TSS仙台駅)

中村 正彦さん

(郡工車体科)

木村 俊一さん

(郡工装置科)

(JR T M)

柴田 悟さん

(仙台保線技術センター)

仲間の異動

8月1日付

左沢 昌幸さん

(仙台電力技セ(新庄))

仙台電力技術センター